



二中だより

第8号
 令和7年12月1日(月)
 柏江市立柏江第二中学校
 TEL 03-3480-8891
 FAX 03-5497-7362
<http://www.komae.ed.jp/jh/02>

「読解力を育む」ということ

校長 植村 多岐

今年のカレンダーも最後の1枚となり、時の流れの早さを感じる12月となりました。

先日、テストの採点をしていた先生方から「今回も問題文の意味を正しく読み取れていない生徒が多い…」との声が聞かれました。これは、本校に限ったことではなく、全国的な傾向のようです。これによく似た内容で、人工知能プロジェクト「ロボットは東大に入れるか」に携わっている研究者、新井紀子教授は、著書【AI vs. 教科書が読めない子どもたち（東洋経済新報社）】の中で、「日本の中高生の多くは教科書の文章を正確に理解できていない。多くの仕事がAIに代替される将来、読解力のない人は仕事を失う可能性がある」と警鐘を鳴らしています。同書では、全国2万5千人を対象にした【読解力「リーディング・スキルテスト」】も掲載され、興味深い内容ですので下にその一部を紹介します。ぜひ、解いてみてください。

【A 読解力・同義文判定問題】 ★正解率は中学生が57%、高校生は71%

「幕府は1639年、ポルトガル人を追放し、大名には沿岸の警備を命じた。」

◎上の文と下の文が表す内容は同じか。「同じ」・「異なる」どちらかで答えなさい。

「1639年、ポルトガル人は追放され、幕府は大名から沿岸の警備を命じられた。」



【B 読解力・主語と述語の関係（係り受け）問題】 ★正解率は中学生が38%、高校生は65%

Alexは男性にも女性にも使われる名前ですが、女性の名Alexandraの愛称であるが、男性の名Alexanderの愛称でもある。

◎次の（ ）に当てはまる最も適切なものを選択肢①～④から1つ選びなさい。

「Alexandraの愛称は（ ）である。」【①Alex ②Alexander ③男性 ④女性】

皆さんいかがだったでしょうか！この問題の中学生の正解率はAが57%、Bが38%でした。短い簡単な文章であっても、文脈を読み取り関係性を見つけられない生徒が一定数いることがわかります。さらに同書では、デジタルドリル学習(問題文を読まなくてもよい)に励んで「勉強した気分」になり、その成功体験が読解力不足を気付きにくくすることも指摘しています。学力においては、覚えることだけに精を出し、読解力を鍛えなければ、思考力・判断力を重視する都立入試・大学入学共通テスト等で十分に力を発揮することはできません。また、文章を読まずに進められる作業はAIが最も得意とする分野であり、我々人間の読解力が乏しいままでは、将来、AIに後れを取る可能性すら考えられます。



それでは読解力を養うには何が有効なのか、残念ながら現時点でそれを解明する科学的な研究はまだ確立されていないようです。しかし、新井教授は自身の経験から読書の時間を確保する、そして「多読」よりも「精読」「深読」に突破口を感じているとも述べています。そうした意味で本校には「朝読書」があります。毎日の読書を「読解力を育む活動」と捉えることもできます。

間もなく冬休みを迎えます。この機会に「読書を楽しむ」中で1冊の本とゆっくり・じっくり向き合ってみてはいかがでしょうか。いずれにせよ「読解力の向上」は大切です。AI技術が加速する今だからこそ、将来に向け意識して取り組む必要があります。(AIとは人工知能 Artificial Intelligence の略称)

学校図書館の機能と役割

～「読解力」と「自ら学ぶ力」を育てる場として～

読解力はこれからの学習や社会で求められる大切な力の一つです。学校図書館は、その読解力をはじめ、思考力や学ぶ力を育むうえで欠かせない存在です。学校図書館には大きく分けて「読書センター」と「学習・情報センター」という2つの役割があります。

「読書センター」としての図書館は、生徒がさまざまな本と出会い、読書を楽しむことができる場所です。静かな環境の中でじっくりと本に向き合うことは、語彙や表現力、想像力を豊かにし、“精読・深読”の習慣にもつながります。図書委員や学校司書による本の紹介、企画展示などを通じて、新しいジャンルの本に触れる機会も広がります。家庭とはまた違った、落ち着いた読書時間をぜひ学校でも楽しんでください。

「学習・情報センター」としての図書館は、自分で調べ、考え、まとめる力を伸ばすための「学びを支える場所」です。百科事典や新聞、資料集、専門書などがそろっており、調べ学習やレポート作成の際には学校司書が相談に乗ってくれます。昼休みや放課後には学習スペースとしても利用でき、必要な情報を自ら探し、比べて選ぶ力を育むことができます。これは、近年の入試で重視される思考力・判断力につながる重要な学習です。

このように学校図書館は、読書を楽しむ場所であり、主体的に学ぶ力を育てる場所でもあります。気軽に立ち寄り、本との出会いや学びの時間を広げてほしいと思います。

また本校では、PTAの皆さまのご協力のもと「学習フリースペース」を実施しています。再登校日に安心して自習できる場として、今年度から会場を学校図書館に移し、より落ち着いた学習環境を整えました。年度当初には3年生から「学習確認テストの1週間前から図書館で勉強したい」という声があり、学校司書とPTAの方々に見守られながら、多くの生徒が集中して学習に取り組んでいます。

PTA主催の「学習フリースペース」の開放予定は職員室前の廊下や教室に掲示しています。また、学校司書が勤務する曜日（原則：月・火・木・金）は、昼休みだけでなく放課後も図書館を開館しています。読書にも学習にも、学校図書館を積極的に活用しましょう。

